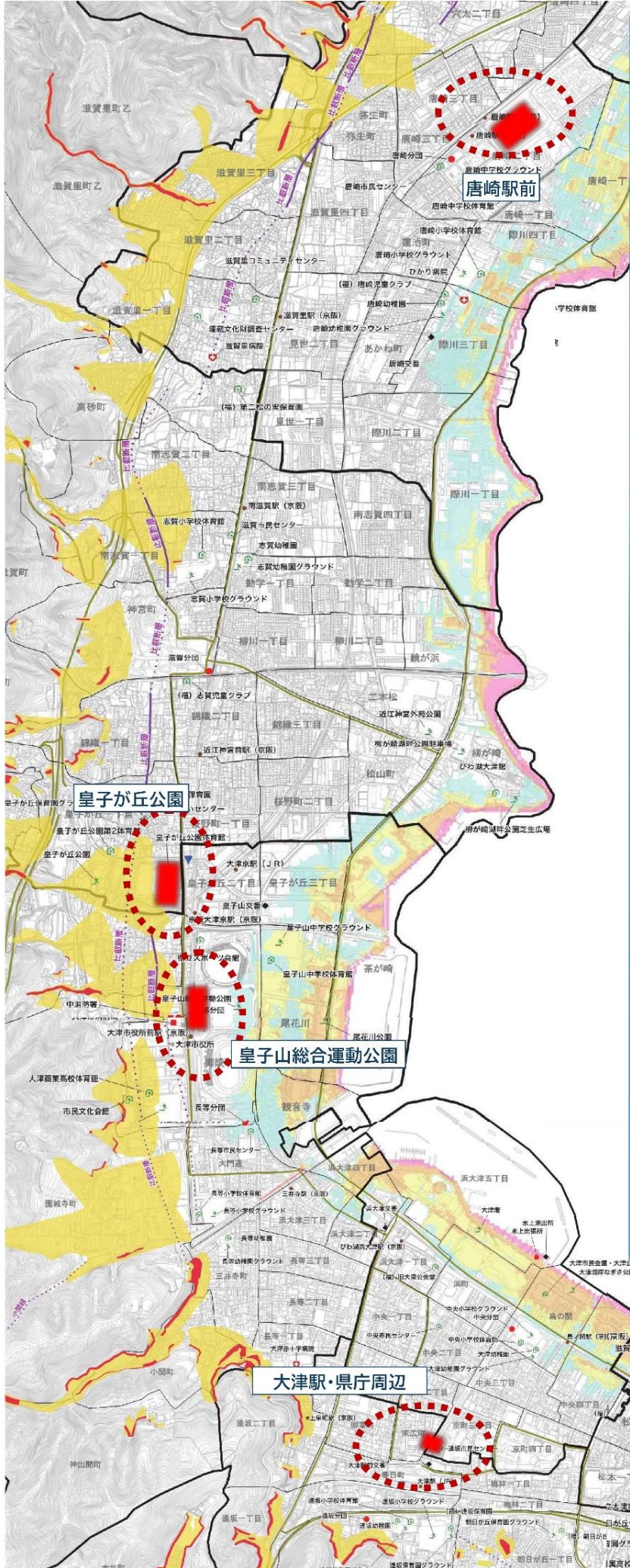


庁舎整備基本計画の策定に向けて

令和6年7月18日

総務部 管財課 庁舎整備室

1 皇子山総合運動公園での庁舎整備を前提とした経緯



◇庁舎整備基本構想における検討(R3～4年度)

◆候補地について(庁舎整備基本構想)

庁舎整備に適した一定規模の市有地がなく、基本構想の段階から候補地とする場合に、将来的に取得できるという『担保性』が重要となることから、現在建物がないなど、庁舎整備に向けてリスクの少ない国有地や県有地から「おおよその候補地」を選定し、庁舎整備に必要な不可欠な評価項目を満足している候補地を「優先して検討を行うおおよその候補地」として検討を行うこととした。

さらに、市民アンケートや懇話会などの意見も踏まえて、市民の利便性や、長期的な視点での将来のまちづくりに対する波及効果などが見込まれることから、「優先して検討を行う候補地」は「皇子山総合運動公園」とした。

また、市民アンケートでは「大津駅・県庁周辺」を望ましいとする意見も多くあり、大津駅・県庁周辺では庁舎整備に必要な一団の土地の確保は困難であるが、他の施設との複合化や官民連携などの新しい視点からも検討を行うこととし、「大津駅・県庁周辺」についても検討を行うこととした。

◆候補地の絞り込みフロー

おおよその候補地（4カ所）	皇子山総合運動公園	皇子が丘公園	大津駅・県庁周辺	唐崎駅前
評価項目	①「庁舎整備用地として高い担保性」 ②「県庁や国の機関などとの行政機能の集約を意識した距離感」 ③「市域全域をカバーする行政サービスネットワークの拠点としての中心性」 ④「公共交通機関や幹線道路によるアクセス」 ＋「ハザードの状況」※ハザードの影響があるところは除く。ただし、対策可能な浸水区域の影響は考慮しない。			
絞り込み	『優先して検討を行うおおよその候補地』 ○皇子山総合運動公園 ※公園の一部			
	『市民アンケート』や『懇話会の意見』			
	『優先して検討を行う候補地』 ○皇子山総合運動公園 ※公園の一部			
	市民アンケートを踏まえて『新しい視点で検討を行う候補地』 ○大津駅・県庁周辺			

◆アンケート抜粋

<回答概要>

調査票配布数	回答数	回答率
10,000	3,880	38.8%

<庁舎整備の必要性や候補地についての回答>

○新たに庁舎を整備する必要性

「新たに庁舎を整備する必要がある」が84.6%を占めている。

○市役所庁舎を整備する際の立地場所について重要視すること

「公共交通機関で来庁しやすいこと」が75.4%で最も多く、次いで「車で のアクセスが良く駐めやすい駐車場が十分確保されていること」71.8%、「災害時に庁舎機能を維持できること」57.7%が多い。

○候補地のエリアとして望ましい場所

皇子山総合運動公園エリアが46.1%と最も多く、大津駅・県庁周辺エリアが26.3%と次いで多い

◆庁舎整備基本構想策定懇話会

氏名	分野	所属・役職	備考
麻生 美希	都市計画	同志社女子大学 生活科学部 准教授	
是永 美樹	建築(計画)	京都女子大学 家政学部 准教授	
高田 豊文	建築(構造)	滋賀県立大学 環境科学部 教授	座長
高田 秀志	DX(デジタルトランスフォーメーション)	立命館大学 情報理工学部 教授	
近本 智行	設備	立命館大学 理工学部 教授	
長野 和雄	環境	京都府立大学 生命環境学部 教授	
深川 良一	防災	立命館大学 理工学部 教授	副座長

◇詳細な調査及び候補地の絞り込み(R5年度)

◆詳細な検証及び候補地の絞り込み結果(令和6年2月)

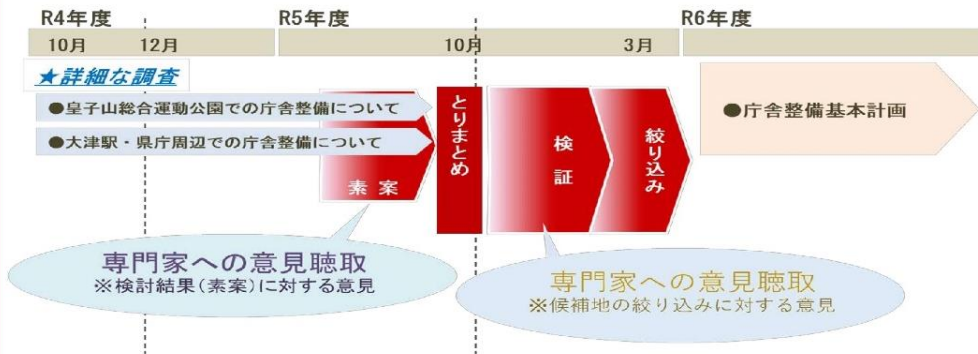
<整備予定地(前提):『皇子山総合運動公園』>

※皇子山総合運動公園を前提とし、「別所合同宿舍用地」の取得に向けて国との協議を行うとともに、市民ワークショップの開催などを重ねながら、今後の方針を固めていく。

○皇子山総合運動公園は、詳細な調査結果、専門家の意見、市民アンケートの結果を踏まえると、庁舎と公園を一体的に活用することに加えて、公園の一体性の観点から「別所合同宿舍用地(国)」を代替公園とすることで、より一層、「交流の創出などによるまちづくりの効果」が見込めること、また、新館との連携や防災拠点として周辺に空地が確保できることで「防災力の向上」が見込めることから適地である。

○大津駅・県庁周辺は、詳細な調査結果や専門家の意見を踏まえると、事業スキームの検討や民間事業者等との調整に時間を要することによる「事業の長期化のリスク」や、建物が高層かつ複雑になることなどによる「事業費の増大」といったことが懸念される。

◆詳細な検証及び候補地の絞り込みスケジュール



◆詳細な調査結果の検証

p3「皇子山総合運動公園における詳細な調査結果」のとおり

◆詳細な調査結果の検証

候補地の絞り込みに向けて、詳細な調査の結果を基に、それぞれの候補地における庁舎整備による大津市全体のまちづくりへの効果及び課題について、専門家の意見も踏まえて総合的な検証を行った。

<候補地の絞り込みに係る判断材料について>

- ①それぞれの候補地における「まちづくりの方向性」及び「課題」
- ②候補地の絞り込みに対する専門家の意見
- ③市民アンケートの結果(基本構想策定時)
- ④候補地を2カ所に絞り込んだ経緯(基本構想策定時)

◆候補地の絞り込みに係る専門家の主な意見

○大津駅・県庁周辺の方が予算が掛かるのに加えて、工事ヤード(資材置場、駐車場など)の確保や工事期間中の駅前の交通安全対策、また、高低差や地権者調整などの課題もあり、都市部のようにどうしても土地が無い場合は仕方がないが、皇子山総合運動公園のように建てやすく、環境がよいところがあるのに、大津駅・県庁周辺で庁舎を建てる必然性が感じられない。

○大津駅・県庁周辺で庁舎を整備することで、大津駅の活性化に繋がるイメージがない。庁舎整備によって昼の時間帯に人が集まったとしても、大津駅周辺の商店街や店舗等が活性化とは思えない。

○それぞれの候補地のメリット、デメリットを比較できるほど大津駅・県庁周辺での庁舎整備のメリットが感じられない。大津駅・県庁周辺のまちづくりのビジョンがあって、その一ステップとして庁舎整備を行うのでないなら、より整備に時間がかかる案を検討する必要性が見出せない。

○JR大津駅は全市街地の中心ではなく、都市マスなどではコンパクトシティの複数の核の一つという位置づけで、市役所を移す必然性はないと思う。大津京・浜大津・JR大津を結ぶエリアは職住共存の都心域で、その中心に別所の市役所を置くと考えられる。

○皇子山総合運動公園は、スポーツが中心ではあるが、びわ湖を活かして、文化活動、インバウンドなど、人が交流できる広い空間が確保できるので、皇子山総合運動公園に庁舎があるほうが、大津市の未来への思いを表現できる。

○庁舎は防災拠点(基地)となるので、庁舎整備を行う場所としては、庁舎周辺に十分なスペース(グラウンド)がある皇子山総合運動公園の方がいい。

◆専門家

氏名	分野	所属	備考
麻生 美希	都市計画	同志社女子大学	基本構想策定懇話会(2021～2022)
是永 美樹	建築(計画)	京都女子大学	基本構想策定懇話会(2021～2022)
深川 良一	防災	立命館大学	基本構想策定懇話会(2021～2022)
宗田 好史	都市計画	関西国際大学	大津市都市計画審議会(2010～2021)

2 皇子山総合運動公園における詳細な調査結果

1 地域の位置付け（市都市マス地域別構想）

- 中部地域の将来像
街道となぎさを育む
都心の魅力とにぎわいのまち
- 中部地域の地域づくりの方針
 - ・人口減少社会に対応したコンパクトなまちづくり
 - ・多彩な地域資源に憩い、楽しさが感じられる回遊性の高い交流環境を創る
 - ・住み心地の良い移動に便利な生活環境の維持・充実に協働で取り組む

3 検討事項

- ・都市公園の一体性を考慮した同等規模かつ機能の確保が可能な代替地の検討
- ・庁舎を整備する敷地は利便性（京阪大津市役所前駅・新館に近い）や多目的グラウンドへの影響（利用状況）などを考慮し検討
- ・南側通路（園路）は建築基準法の道路ではないため、この通路に接する敷地設定で建築可能とするための市道認定及び庁舎整備に伴う公園出入口の安全対策の検討
- ・庁舎整備に伴う都市計画公園の計画決定変更の検討

5 皇子山総合運動公園での庁舎整備によるまちづくりの方向性

庁舎整備がまちづくりに寄与すること

- 庁舎との一体利用による運動公園の機能の充実（専門家の意見）
～スポーツをされる方だけでなく、健康づくりやスポーツ観戦なども楽しめる機能の充実、また、だれもが利用しやすいインクルーシブな空間の創出
～大会・イベント等開催時の機能（飲食・小売り機能、日陰等憩いの空間等）の充実
- 庁舎と公園の一体的利用による市民交流の空間の創出（例：博多区 糸島市 等）
～庁舎のデッキ、ピロティ等と公園を一体的に活用したイベント等によるにぎわいの創出
- 周辺の歴史／文化資源との連携による魅力発信（専門家の意見）
～周辺の歴史／文化資源や豊かな自然を活かした「フィールドミュージアム」や情報発信・情報提供等による魅力発信の拠点
- 庁舎と隣接する公園を一体的に活用した災害時の防災力の向上（例：博多区 糸島市 等）
～庁舎と公園を一体的に利用することによる防災拠点としての機能向上

健康・育み・歴史／文化のまちづくり

山から湖へ至る豊かな自然や文化・歴史的風土を基礎に、皇子山総合運動公園を中心に公園・緑地でのスポーツ・健康づくりの取組を進め、市民の交流や子どもの健やかな成長を育む「健康・育み・歴史／文化」のまちづくりを展開する
また、庁舎と隣接する公園を一体的に活用することで防災拠点としての機能向上を図る

2 地域の特徴

- 活かすべき資源
 - ① 企業局、消防局等との複合機能拠点
 - ② 公園・緑地・運動施設等の集積
 - ③ 史跡、社寺、歴史的風土、歴史博物館
 - ④ 駅周辺の利便性
- まちづくりの課題
 - ① 庁舎の建替えが必要
 - ② 新庁舎整備と合わせた公共施設等の再編の検討
 - ③ 歴史的資源や風土が十分に活かされていない

4 留意事項

- ・国有地のため用地の取得が必要
- ・第2種公認陸上競技場の認定への影響
- ・各種大会開催時におけるバッファゾーンの確保
- ・南側通路（園路）の道路幅員9.5m以上必要（敷地面積が1haの場合 開発許可基準）
- ・地盤面下の既設埋設管を避けるか、改修が必要



6 庁舎整備によるまちづくりへ向けての検討

（1）庁舎跡地や臨時駐車場の公園代替地及び代替地以外の活用の可能性検討

- 庁舎跡地や臨時駐車場の代替地以外の活用の可能性については、庁舎整備によるまちづくりの方向性を踏まえつつ、将来を見据えて、公共施設の集約の可能性について検討を行う。

（2）公園との一体性を活かした庁舎への付加的機能及び庁舎移転に伴う皇子山総合運動公園機能改善などの検討

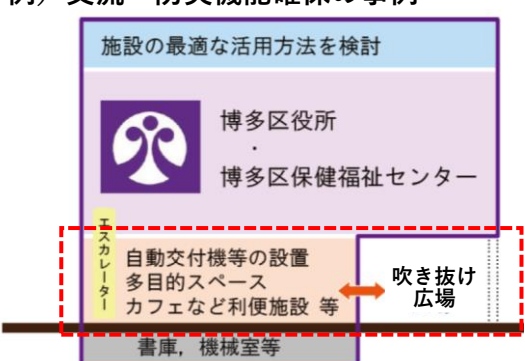
- 公園と庁舎空間の一体的な活用を検討し、パブリックな空間を確保することで、市民の憩いだけでなく、市民交流（イベントなど）の場を創出する。
- 災害時に備えて、庁舎だけでなく、隣接する公園を一体的に活用した防災拠点としての機能向上を検討する。
- 豊かな自然を感じられるように皇子山総合運動公園の見晴らしを活かした眺望機能の確保を検討する。
- 皇子山総合運動公園周辺エリアを歴史／文化資源や自然が豊かな「フィールドミュージアム」ととらえ、その拠点としての機能（情報発信・情報提供等）を付加することを検討する。
- だれもが利用しやすいインクルーシブな空間の創出を図る。

例）パブリックな空間確保の事例



糸島市役所（福岡県）
庁舎1階のオープンスペース、糸島デッキ（仮）、防災広場を整備し、その開放的な空間を活かした市民交流（イベントなど）による賑わいの創出の促進

例）交流・防災機能確保の事例



博多区役所（福岡県）
カフェ等に隣接する吹き抜け広場は平時は交流空間に、災害時には救援物資等の荷捌きスペースとして活用可能

◆眺望機能



◆飲食・小売り機能



◆インクルーシブな空間利用イメージ



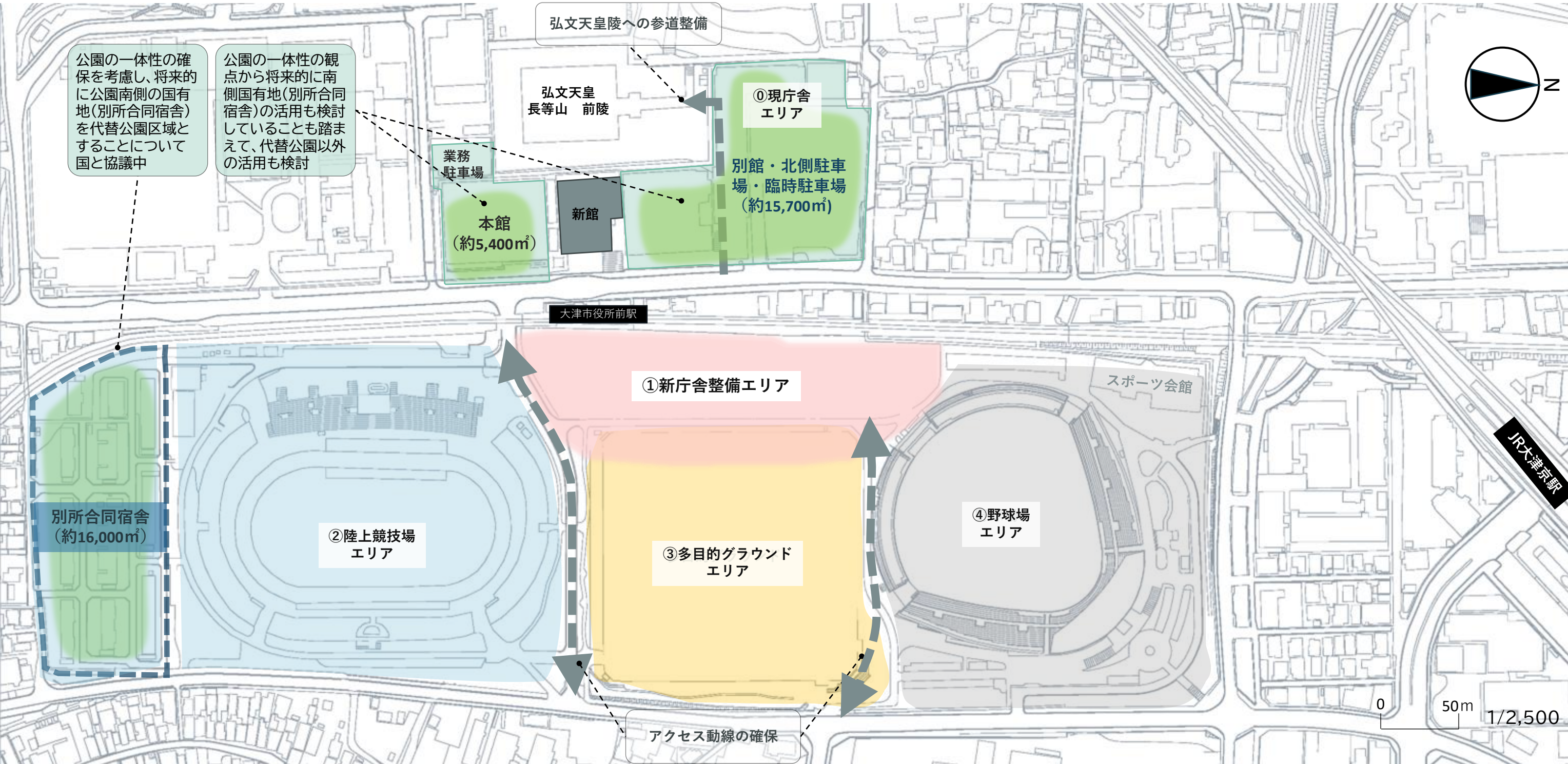
（3）分散化している部局の集約、他の公共施設との複合化や集約

- <分散化している部局の集約>
 - 子育て支援機能やスポーツ関連部局の集約の可能性について検討を行う。
- <他の公共施設との複合化や集約>
 - 庁舎と他の公共施設との複合化だけでなく、庁舎跡地や臨時駐車場の代替地以外の活用の可能性については、庁舎整備によるまちづくりの方向性を踏まえつつ、将来を見据えて、他の公共施設の集約の可能性についても検討を行う。

7 課題

- 庁舎整備に伴う公園代替地は、公園の一体性の観点から別所合同宿舍敷地が将来的に活用できるように国との協議を継続して行う。

3 想定されるゾーニング案



①現庁舎エリア

- ・新庁舎整備に伴う公園代替地としての活用を検討するエリア。
- ただし、公園の一体性の観点から将来的に南側国有地(別所合同宿舍)の活用も検討していることも踏まえて、代替公園以外の活用も検討する。
- ・活用にあたっては、敷地西側に隣接する弘文天皇陵への参道となる空間の確保を図る。

②新庁舎整備エリア

- ・現庁舎の移転先として新たな庁舎を整備するエリア。
- ・公園の広々とした空間や運動施設と隣接する敷地の特性を活かした機能付加について検討を行う。
- ・多目的グラウンドや通路等現運動公園の機能に配慮した施設配置の検討だけでなく、相互のエリアの特徴を活かした活用について検討する。
- ・京阪大津市役所前駅に近接するエリアとして、ゲート性の確保等魅力ある空間づくりについて検討を行う。

③陸上競技場エリア

- ・現陸上競技場の機能を維持しつつ、新庁舎整備に伴い、運動公園に必要な機能確保について検討するエリア。
- <南側国有地(別所合同宿舍)の活用>
- ・同エリアの南側に隣接する国有地(別所合同宿舍)について、公園として活用した場合、公園と一体的な活用が可能となることから、用地取得の可能性を探るとともに公園の代替地としての活用について検討する。

④多目的グラウンドエリア

- ・スポーツやイベントに活用可能な多目的グラウンドとしての機能を維持するエリア。
- ・新庁舎整備エリアと隣接することから、スポーツ利用の際に新庁舎への影響を最小限とするように配慮しつつも、相互のエリアの特徴を活かした活用について検討する。

⑤野球場エリア

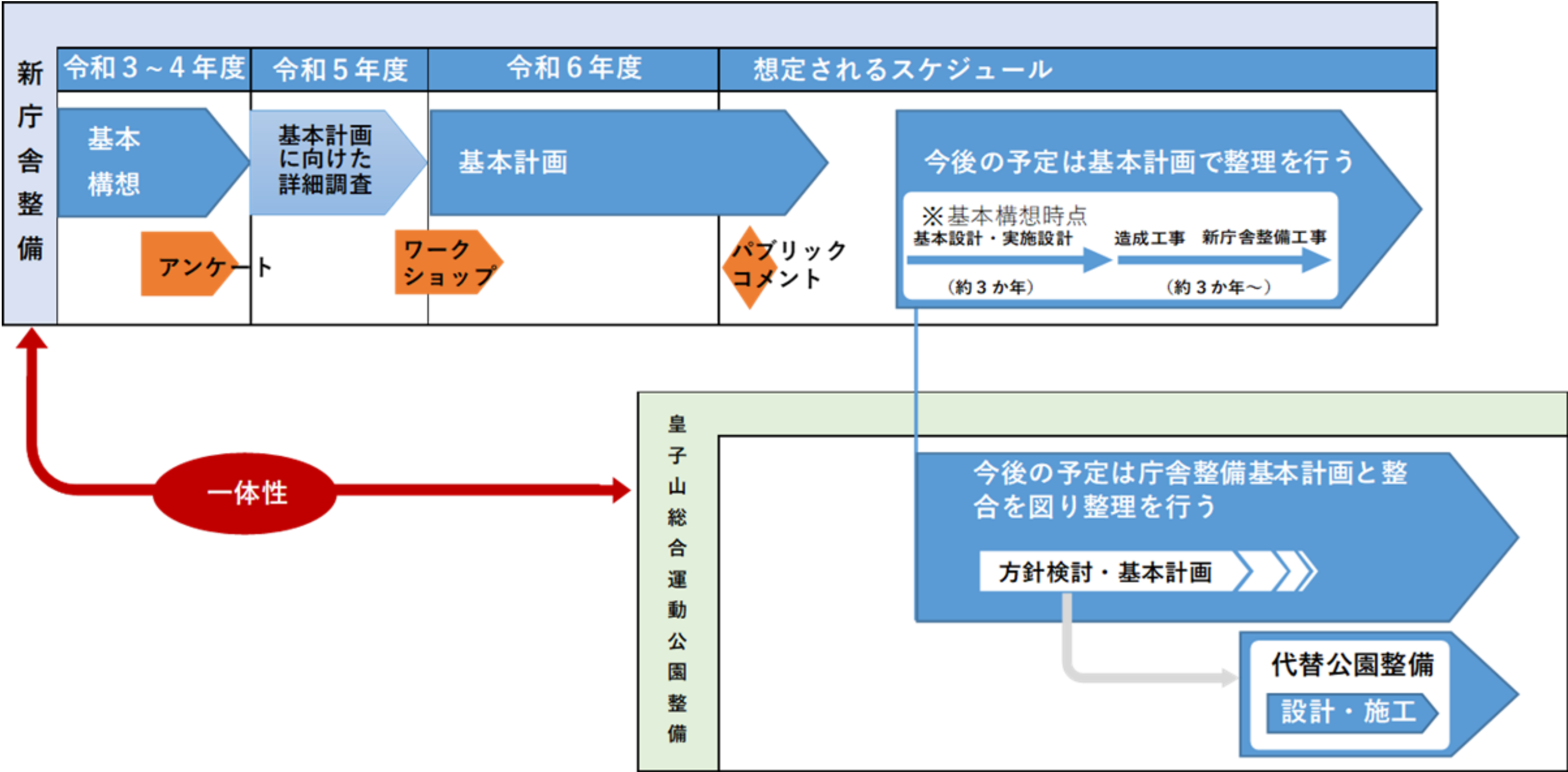
- ・現野球場の機能を維持するエリア。
- ・JR大津京駅に近接するエリアとして、ゲート性の確保等魅力ある空間づくりについて検討を行う。

4 スケジュール

※庁舎整備基本計画の策定については、令和6年度末に案をとりまとめ、令和7年度の早い段階でパブリックコメントを行う予定とします。

※代替公園整備については、一体性の観点から、新庁舎整備に伴う皇子山総合運動公園の整備方針を検討した上で行うこととする。

※公園整備に係るスケジュールは別途整理を行います。



5 市民ワークショップ ①

市民ワークショップ 概要

●目的

- ・新庁舎を整備するにあたり、市民の様々な視点に立った意見やアイデアを計画に反映するため、市民ワークショップを開催する。
- ・ワークショップで出された意見やアイデアは、今後の基本計画（設計方針）検討の参考とする。

●対象者

無作為抽出（市内在住の高校生以上、学区・年齢比率を考慮）した3,000人程度を対象に募集し、応募された方 28人

●全体プログラム

【第1回】 ワークショップ （事前勉強会）	3/23（土）9時30分～ テーマ：新しい庁舎の整備に向けて、課題を確認しよう！
【第2回】 ワークショップ （テーブルワーク）	5/11（土）9時30分～ テーマ：新しい庁舎にほしい施設や機能について考えてみよう！
【第3回】 ワークショップ （テーブルワーク）	6/8（土）9時30分～ テーマ：公園と一体となった新庁舎のあり方やイメージについて考えてみよう！
【第4回】 報告会	8/24（土）10時～ テーマ：将来の新大津庁舎のあり方について提案してみよう！

第4回ワークショップ（報告会）の予定



今までの議論を踏まえ、テーブルごとに「将来の新大津庁舎のあり方」の提案を模造紙にまとめ、提案内容をみんなで共有するため、プレゼン大会を開催！



ワークショップ・模造紙イメージ：
“地域課題解決ワークショップ「品川をもっと住みよくするには？」”
（品川区）



プレゼン大会イメージ：勝手にプレゼンFES（佐賀市）

第1回 結果概要

参加者：28人

当日は、大津市から、新庁舎整備に向けた検討の経緯や候補地選定の理由について説明した後、参加者の皆さんと一緒に、現在の庁舎を見学し、庁舎の課題を見つけました。また、あいにくの天候となり、計画予定地である皇子山総合運動公園は、新館7階の屋内からの見学となりましたが、計画地を眺めることで、公園の中にある庁舎のあり方や琵琶湖への眺望を活かした工夫等のアイデアが浮かびました。



市長あいさつ



質疑・意見交換



次回の検討につながる様々な意見をいただきました！



現地見学



執務室や地下倉庫など普段は入ることができない場所も見学しました！

主なご意見

○エントランス等の機能・空間のあり方について

- ・天井が低く、通路も狭く 全体的に暗かった。トイレも汚かった。部署が離れているところがあり不便さを感じた。障がい者の方にも分かりやすい案内板を工夫する必要があると感じた。
- ・1階の1フロア内に「総合案内」「税」「保険年金」「戸籍住民」「マイナンバー」を導線が分かりやすいように集約させて欲しい
- ・普通の市民は、書類の意味も分からず、市役所の組織も充分理解していない。どのセクションに行くのかも分からない。なるべく容易な案内があった方がよい。

○新庁舎、公園と一体となった庁舎について

- ・公園一体化の庁舎ということですが、皇子が丘公園は市民がゆっくり休日を過ごす場所にはなっていません。特に幼児向けの施設もなく、子ども連れは、草津のであい広場や志賀町まで足をのばしている現状です。どの年代にも対応した市民の公園づくりも庁舎づくりの一環として考えて欲しいです。
- ・用事はないが、行ってみたいと思える市役所に！！
- ・（現庁舎は）外観はとても立派で、シンボルチックでもあるので、新しい庁舎もそういったものであるといいなと思います。
- ・働く環境、訪れる環境として、相応しい設備にしてほしいと感じました。

○庁舎へのアクセスについて

- ・庁舎へのアクセスは、道路の立体交差や駐車スペースの確保など建築、市街地づくりのコンペを行うなど専門家のアイデアが欲しいと思いました。
- ・地元小学校、中学校の通学路の真ん中に、新庁舎が建つようになり、交通車両等に対する学童生徒の安全確保に配慮もよろしくお願いします。

○その他施設について

- ・託児スペースや授乳室の充実を望みます。
- ・市役所の歴史を総括する場所はないのか？
- ・各課・担当部署の職員の意見・要望も、今後のワークショップの際には、紹介していただけませんか。
- ・今後は広報おつに進捗状況を掲載して、市民の皆さんに情報発信していくなど、如何でしょうか。

5 市民ワークショップ ②

第2回 結果概要

参加者:23人

当日は、冒頭に、滋賀県立大学の村上先生より開会あいさつをいただきました。その後、テーブルワークに向けて、令和4年実施の庁舎整備に関する市民アンケートの結果や、第1回ワークショップの現場見学のおさらいをしました。テーブルワークでは、5チームに分かれて「新庁舎に欲しい施設や機能について考えてみよう！」をテーマに、意見交換を行いました。



主なご意見

○ 現庁舎から引き継ぐべき機能

- ・大津市の顔としてのシンボリックな外観は引き継ぐべき。また、大津市の自然や歴史、周辺環境に調和したデザインが良い。
- ・市職員の方の窓口対応はとても親切であり、温かみを感じる。窓口案内等は、手続きのIT化等によって利便性を高めることも良いと思うが、そのような人の温かさは引き継ぎたい。

○ 現庁舎の改善すべき機能

- ・エレベーターや階段、トイレ等の設備関係はバリアフリー対応で、誰でも利用しやすいものに改善すべき。また入り口部分も段差があり、心理的にも入りにくさを感じるので、フラットにして入りやすくなれば良い。
- ・電車や車でアクセスも向上させ、庁舎に行きやすくなるように。
- ・社会情勢の変化に柔軟に対応できるよう、各部署を間仕切りで区切り、自由に部屋の形を変えられるように。
- ・市民が特に利用する手続き関係の窓口はワンフロアにまとめて配置し、ストレスフリーで用事が済むように。
- ・一目で見て目的の部署が分かる等、わかりやすい案内や動線計画が必要。また、外国人向けの多言語対応も。
- ・授乳室はもっと落ち着いて利用できるような場所になると良い。
- ・待合スペースが小さいので、もっと広くゆとりのある空間になれば良い。
- ・非常時用に地下施設（シェルター）をつくっておく等の防災関係施設の充実。

○ 現庁舎に付加すべき機能

- ・市職員も市民も一緒に利用できる食堂やカフェ等、交流の場ができると良い。また、託児スペース付きで、母親同士が交流できるようなカフェ等もあると良い。
- ・ミニコンサートやフリーマーケットができるスペース、スポーツをする方の給水ポイントやシャワー室、子供が遊べる屋内スペース等、市民が気軽に、多様に利用できる場所があれば良い。
- ・グラウンドと建物の間に雨をしのげる空間をつくる等、公園と一体的な利用を想定したデザインに。
- ・子どもの作品の展示スペース、発掘物等のギャラリーを整備し、庁舎が文化的な中心地になれば良い。
- ・魅力的なパノラマ景観を楽しめる展望スペース等、大津市の素晴らしい景観を活かした庁舎が良い。
- ・学童用品やおもちゃ、絵本等、子どもが大きくなって利用しなくなったものを、廃棄せずに、欲しい世代に継承できるような仕組みや場所が庁舎にあれば良い。
- ・市民が自由に大津の好きなところを付箋に書いて貼れる“大津大好きな壁”のような、大津の魅力をみんなで共有できるような場所が欲しい。

第3回 結果概要

参加者:22人

当日は、冒頭に、滋賀県立大学村上研究室の学生のお二人から、「学生から見た！地域の魅力・可能性」と題した話題提供と、村上先生から検討にあたり参考になる他都市の事例紹介をしていただきました。

テーブルワークでは、第2回ワークショップのおさらいをした後、5チームに分かれて「公園と一体になった新庁舎のあり方やイメージについて考えてみよう！」をテーマに、意見交換を行いました。



- ①公園と一体となった庁舎にあるべきと思う機能・空間
- ②庁舎が整備される公園にあるべきと思う機能・空間
- ③周辺施設・地域資源との関係性で庁舎に期待される役割・機能のアイデア

庁舎の建物、公園全体の整備、周辺との連携、交通アクセスの改善等、チームごとに特色のある様々な方向性の意見が出ました！

1 班

- ・小さな子どもが遊べる遊具など子育てに関する機能
- ・緑、休憩できる場所、カフェ
- ・職員、市民が共存できるような場所になると良い。

- ・休日診療所、図書館等
- ・木陰ができる緑
- ・プロスポーツの競技場
- ・ショッピングできる商業施設

- ・自動運転等の技術も取り入れ交通を改善するなど、庁舎整備を契機に人の移動の活性化が必要

2 班

- ・駐車場：地下駐車場にするなど庁舎と一体に
- ・多機能：多目的、ワークスペース、送迎の保護者が使える場所、中高生の勉強場所、カフェ等

- ・健康：大人も運動できる遊具や健康管理ステーション等
- ・防災：避難所・カマドベンチ等
- ・公園：子どもだけでなく様々な世代が使えるように

- ・京阪とのコラボや土産屋等周辺観光拠点になるような機能導入

3 班

- ・高校生が使えるコンビニや、ランチできるカフェ等
- ・公園と連動した医務室やトイレ、防災機能

- ・公園全体を森林のような空間に
- ・駐車場は景観や渋滞の面から公園に分散させた方がよい

- ・周辺の歴史的な建物や文化資源を楽しめるような遊歩道・周遊ルートを計画し周遊拠点に
- ・渋滞等の緩和のため、周辺道路の拡幅も必要

4 班

- ・1階は市民が利用できる場所、2階以上は職員が使える場所ゲートのような庁舎
- ・現庁舎の新館と新庁舎を通路でつなぎ、一体的にできると良い
- ・トイレ、更衣室等開庁日に関係なく使える場所が必要

- ・子ども、動物、障害者、大人、高齢者、それぞれに適した空間
- ・文化活動等の発表の場

- ・わざわざいってみたいと思える「遊べる市役所」に

5 班

- ・スポーツする方や観覧客のための、休憩できる場所、日陰になる屋根、トイレ等の整備
- ・防災センターができると良い

- ・人と車の棲み分けが大事、ジョギングコースや散策路の整備
- ・文化活動等の発表の場

- ・周辺公園と機能分担し、皇子が丘公園との一体化の検討、一体化に伴うアクセスの改善が必要
- ・現庁舎跡地の有効利用の検討も必要

6 今後の検討課題 ①

①導入機能・規模、空間構成の検討

- 基本構想における基本理念、新庁舎計画地決定の経緯等を踏まえ、具体的な導入機能・規模、空間構成の検討が必要

○これまでの経緯と今後の流れ

【基本理念】

基本コンセプト

市民が親しみやすく
利用しやすい庁舎

支所と連携した行政
サービスネットワーク
の拠点としての庁舎

災害時に機能する防災
拠点としての庁舎

環境に配慮した自然
にやさしい庁舎

基本方針

市民サービスの向上につながる庁舎

市民に開かれ、市民に親しまれる庁舎

自治体DXを推進しネットワークを強化する庁舎

自治体DXの推進に向けた庁舎

自然災害に強い、災害対応機能に優れた庁舎

市民の安全・安心を守る拠点となる庁舎

省エネ・省CO2でライフサイクルコストを削減する庁舎

周辺環境と共生し持続可能な社会を実現する庁舎

【新庁舎計画地の決定】

皇子山総合運動公園での庁舎整備を前提として、協議・検討の深度化

【オフィス環境調査等】

- オフィス環境調査及び整備方針の検討
現庁舎のレイアウト・物品量及び文書量・会議室利用状況等の実態調査を踏まえ、課題を整理し、オフィス環境整備方針やレイアウト基本プラン、必要延床面積等を検討
- 公文書管理制度及び運用の見直しやペーパーレスの検討
現行規定等や文書管理状況等の調査を踏まえ、課題を整理し、公文書管理制度及び運用の見直し、ペーパーレスの取組を検討

【新庁舎基本計画等】

- オフィス環境調査等を踏まえ、施設計画の概略検討
- 事業手法の検討
- 職員・市民意見の反映
- 交通量調査等付帯調査の実施
- 基本計画のとりまとめ

令和7年度以降 【新庁舎新築基本設計】

②公園内の立地を活かした計画づくり

- 皇子山総合運動公園内に計画地を確保することから、公園内の立地を活かした計画づくりや、公園内の既存施設に配慮した計画づくりが必要

○庁舎整備によるまちづくりの方向性

- 庁舎との一体利用による運動公園の機能の充実
～スポーツをされる方だけでなく、健康づくりやスポーツ観戦なども楽しめる機能の充実、また、だれもが利用しやすいインクルーシブな空間の創出
～大会・イベント等開催時の機能（飲食・小売り機能、日陰等憩いの空間等）の充実
- 庁舎と公園の一体的利用による市民交流の空間の創出
～庁舎のデッキ、ピロティ等と公園を一体的に活用したイベント等によるにぎわいの創出
- 周辺の歴史／文化資源との連携による魅力発信
～周辺の歴史／文化資源や豊かな自然を活かした「フィールドミュージアム」や情報発信・情報提供等による魅力発信の拠点
- 庁舎と隣接する公園を一体的に活用した災害時の防災力の向上
～庁舎と公園を一体的に利用することによる防災拠点としての機能向上

健康・育み・歴史／文化のまちづくり

山から湖へ至る豊かな自然や文化・歴史的風土を基礎に、皇子山総合運動公園を中心に公園・緑地でのスポーツ・健康づくりの取組を進め、市民の交流や子どもの健やかな成長を育む「健康・育み・歴史／文化」のまちづくりを展開する
また、庁舎と隣接する公園を一体的に活用することで防災拠点としての機能向上を図る

○公園の立地を活かした計画づくりのアイデア（一例）

- 庁舎低層部に、公園と一体となったオープンスペースの確保
- 緑豊かな環境に馴染む木材の使用 など



芝生広場と一体となった庁舎
(富岡市役所 しるくるひろば)



地産木材を使用した庁舎
(小林市役所)

○公園内の既存施設に関する主な課題

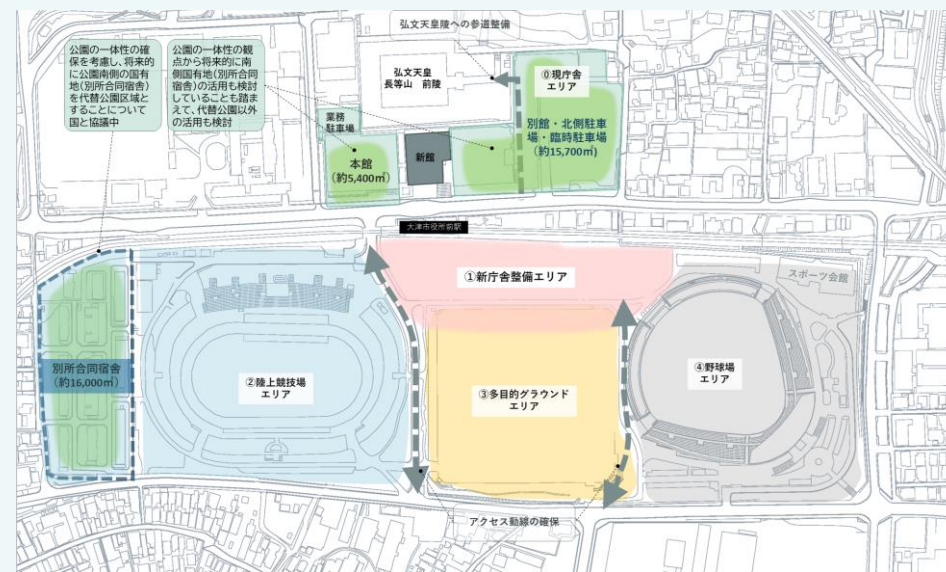
- 新庁舎整備により、現材のテニスコートや国体広場を廃止するため、代替施設・機能が必要
- 新庁舎計画地の東側には、多目的グラウンドが配置されており、利用状況を踏まえた、機能・規模の確保、防球ネット・バックネット等の配置が必要 など

③ゾーニングのブラッシュアップ

- 現時点で大まかな公園のゾーニング（新庁舎整備エリア）を設定しているが、施設規模や動線計画等を踏まえ、ゾーニングのブラッシュアップ及び敷地設定が必要

○ゾーニング検討の主な視点（敷地設定への影響）

- 公園との一体的な空間形成
～公園内に立地する特性を踏まえ、公園と庁舎をつなぐ、ゆるやかな中間的な空間が必要
- 必要延床面積とのバランス
～基本計画時点では、想定される職員数等を基に総務省基準により必要延床面積を40,000～45,000㎡と設定しているが、DX導入や働き方改革等より、必要延床面積の精査が必要
- 都市計画公園面積とのバランス
～新庁舎敷地を確保することに伴い、公園面積が減少するため、代替公園の確保が必要
- 庁舎周辺の交通安全への配慮
～新庁舎への車でのアクセスを想定し、庁舎周辺における交通安全への配慮が必要



(本資料p. 3のとおり)

④国有地の購入や現庁舎跡地の利活用

- 庁舎の移転建替えに伴い、公園代替地の確保、現庁舎跡地の利活用について並行して検討が必要

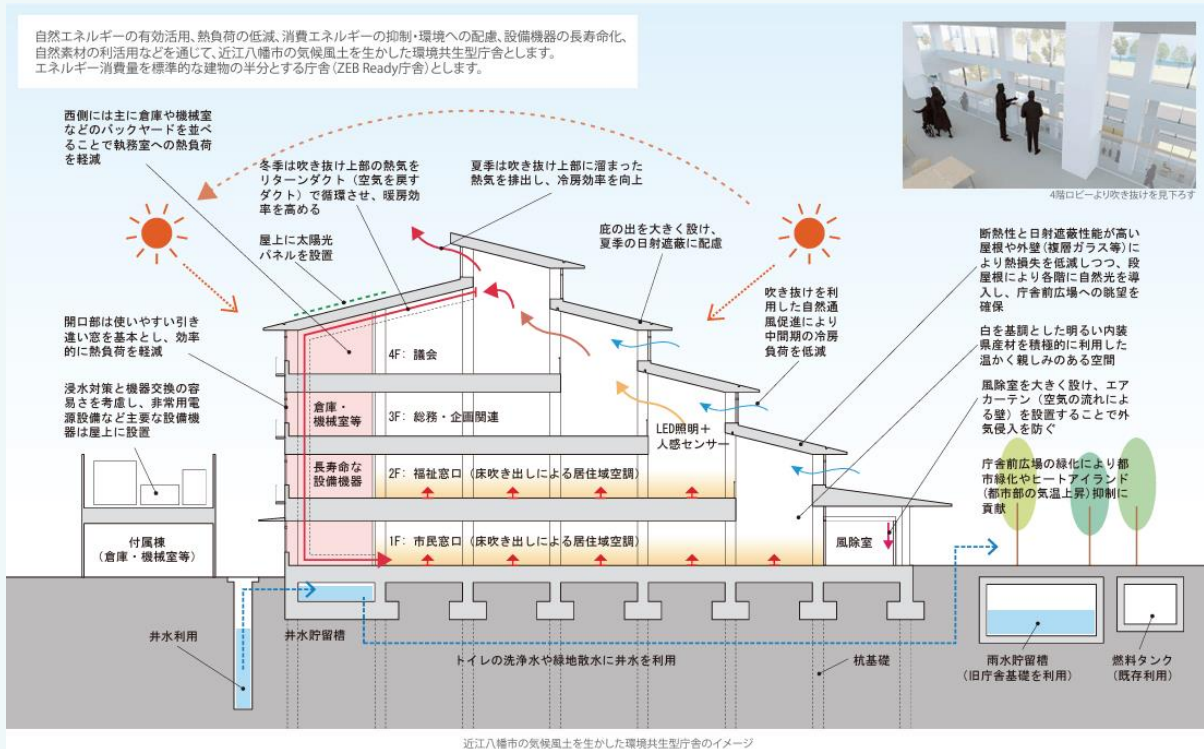
敷地または建物	今後の在り方の方向性
現本館	公園の一体性の観点から将来的に南側国有地（別所合同宿舎）の活用も検討していることも踏まえて、代替公園以外の活用も検討
北側駐車場・臨時駐車場	
現別館	
別所合同宿舎（国有地）	公園代替地として確保。

6 今後の検討課題 ②

⑤環境に配慮した取組み

- SDGsやカーボンリユートラル等、新たな時代の要請に対応するとともに、琵琶湖を有する大津市だからこそできる環境に配慮した取組みが必要

○環境に配慮した取組みの一例

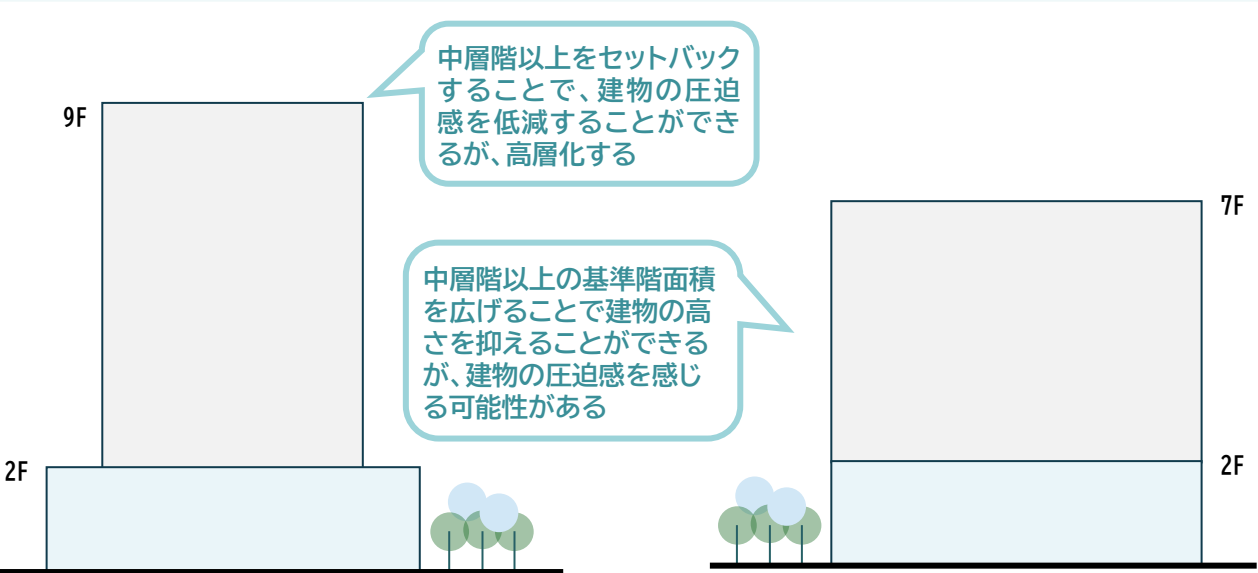


(近江八幡市庁舎整備基本設計 概要版(令和3年7月) より)

⑥景観に配慮した取組み

- 市民ワークショップでは、現庁舎のシンボリックなデザインの継承、琵琶湖を見渡す眺望の確保、市を代表する施設にふさわしいデザイン等を望む意見が多数
- 一方で、計画地の周囲は中低層の街並みを形成していることや、山並みや琵琶湖との調和が求められることから、“見る・見られる”を踏まえ、景観に配慮した取組みが必要

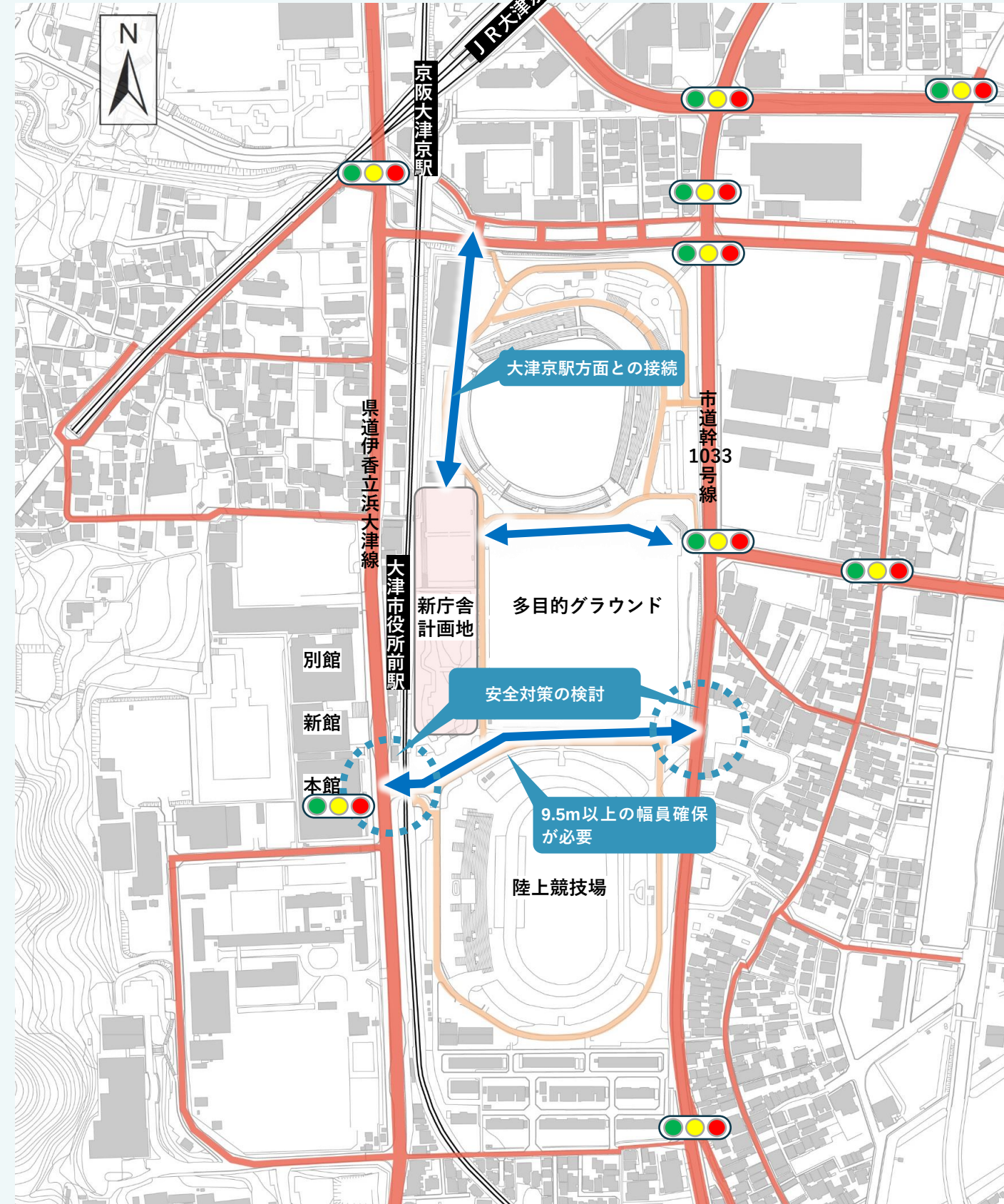
○建物の高さの考え方



⑦アクセス動線の確保

- 新庁舎計画地は公園内に立地しており、現状のままでは接道条件を満たしていないため、園路の道路化や敷地設定の工夫等により接道条件を満たし、アクセス動線を確保することが必要
- 公園内の空地を活用する等して、大津京駅方面からの円滑な歩行者動線の確保についても検討が必要
- 新庁舎周辺における交通安全の配慮だけでなく、周辺交通ネットワークの状況を踏まえた検討が必要

(交通ネットワーク状況)

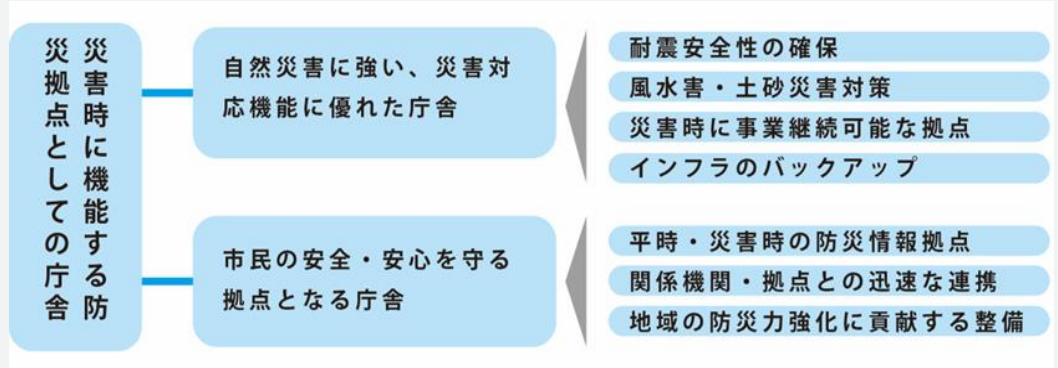


6 今後の検討課題 ③

③総合的な防災・減災対策

1) 庁舎整備による防災力向上

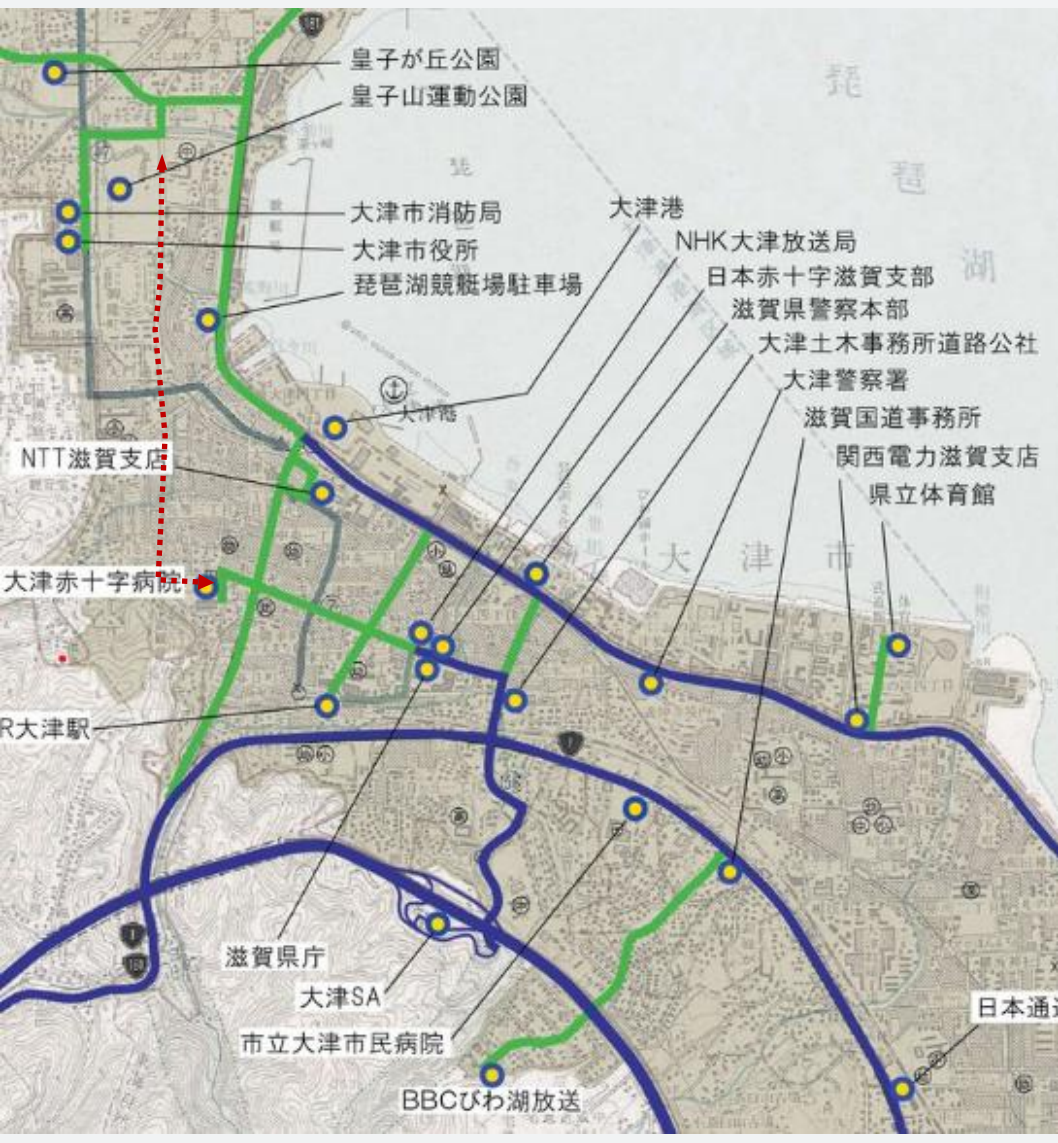
○基本構想（基本コンセプトなど）



○庁舎整備によるまちづくりの方向性

- ・庁舎と隣接する公園を一体的に活用した災害時の防災力の向上
～庁舎と公園を一体的に利用することによる防災拠点としての機能向上

2) 緊急輸送路（滋賀県R6.2）



3) 皇子山総合運動公園の役割

●指定緊急避難場所

●受援体制

○自衛隊の受援体制

【準備する施設等】

- a)本部事務室 b)宿舍
- c)材料置場、炊事場(野外の適当な広さ)
- d)駐車場(車1 台の基準は3m×8m)
- e)ヘリコプター発着場(二方向に障害物のない広場)

施設名	活用スペース	面積 (㎡)
皇子山陸上競技場	2階 役員室、来客室、貴賓室 1階 会議室、審判員室、協議会役員室、男子更衣室、女子更衣室、トレーニング室	1,211.0
皇子山球場	1階 選手控え室、審判控え室、会議室、応接室	2,256.3

○緊急消防援助隊の受援体制

【緊急消防援助隊の進出拠点及び到達ルート】

○陸上部隊進出拠点（第1次集結場所）の候補地は下表のとおりとし、災害状況及び応援部隊の進出方面に応じて選定する。

No.	受入れ方面	進出拠点	所在地	管轄本部	駐車台数
1	愛知県側	伊吹PA	米原市柏原	湖北消防	100
2		湖北地域消防本部米原消防署	米原市長岡281-1	湖北消防	60
3	三重県側	甲賀広域行政行政組合消防本部	甲賀市水口町水口6218	甲賀消防	100
4		多賀町役場	犬上郡多賀町多賀324	彦根消防	150
5		甲賀市土山支所	甲賀市土山町北土山1715	甲賀消防	100
6		土山SA	甲賀市土山町南土山	甲賀消防	200
7	福井石川県側	賤ヶ岳SA	長浜市余呉町	湖北消防	80
8		湖北地域消防本部長浜消防署伊香分署	長浜市木之本町大音151	湖北消防	80
9		今津総合運動公園	高島市今津町日置前3110	高島消防	50
10	京都府側	道の駅マキノ追坂峠	高島市マキノ町海津887-27	高島消防	20
11		皇子山運動公園	大津市御陵町4	大津消防	100

○陸上部隊活動拠点（「第2次集結場所」）の候補地は下表のとおりとし、災害状況及び応援部隊の進出方面に応じて選定する。

名称	所在地	到達ルート	緯度経度
滋賀県立アイスアリーナ	大津市瀬田大江町17-3	名神高速道路国道1号線京滋バイパス	北緯34度58分07秒 東経135度56分05秒
皇子山総合運動公園多目的グラウンド	大津市御陵町4	名神高速道路国道1号線京滋バイパス国道161号線	北緯35度01分08秒 東経135度51分25秒
大津市北消防署志賀分署	大津市木戸58	国道161号線	北緯35度12分11秒 東経135度55分25秒

4) 庁舎における受援体制

地方公共団体	県、地方公共団体相互応援協定、他市町村等の受援体制を整理
自衛隊	自衛隊の災害派遣範囲、受入れ体制、本市連絡窓口等を整理
緊急消防援助隊	「大津市消防局緊急消防援助隊受援計画」に基づき受援する旨を記載
医療機関	市三師会と県DMATへの要請と受入れ、医薬品・資機材等の確保することなどを整理
災害時応援協定締結団体（民間団体等）	協定を締結している民間団体等に対しては協定締結担当課が直接応援要請することなどを整理
ボランティア	大津市社会福祉協議会が設置する大津市災害ボランティアセンター（被災者生活支援センター）が受け入れる。人的受援班は同センターと連携し、一般ボランティアの受入れ、配置・活動調整を行い、専門ボランティアについては、当該専門を有する各部で受入れ、各部受援担当者が配置・活動調整を行うことを基本とする旨整理
上下水道、ガス関係機関	日本水道協会関西地方支部の災害時相互応援に関する指針をはじめとする計7協定等に基づき受援する旨整理

【受援対象業務】

受援対象業務は、「大津市業務継続計画」における 非常時優先業務のうち、他都市や民間事業者等の受援が可能な業務で、東日本大震災や熊本地震において被災自治体で受援対象になったものなど、82業務を選定した。

総務部	7業務	産業観光部	3業務
市民部	4業務	環境部	8業務
福祉部	7業務	都市計画部	8業務
健康保険部	6業務	企業局	23業務
保健所	15業務	教育委員会	1業務

○ヘリコプター離着陸可能場所は、下表のとおりとする。

名称	所在地	管理者（連絡先）	緯度経度
皇子山陸上競技場	大津市御陵町4-1	皇子山陸上競技場077-522-7065	北緯35度01分02秒 東経135度51分25秒
東洋紡績グラウンド	大津市堅田二丁目1-1	東洋紡績株式会社研究所077-521-1413	北緯35度06分20秒 東経135度54分52秒
大石スポーツ村グラウンド	大津市淀一丁目	大津市スポーツ村管理事務所077-546-6369	北緯34度54分37秒 東経135度54分27秒
和邇市民運動広場	大津市和邇今宿851	大津市077-594-8022	北緯35度09分31秒 東経135度55分22秒
比良げんき村グラウンド	大津市北小松	大津市077-596-0710	北緯35度15分26秒 東経135度57分56秒
伊香立公園 多目的グラウンド	大津市伊香立向在地町地先	大津市077-598-2262	北緯35度08分14秒 東経135度53分00秒

○陸上部隊の宿営可能場所は、下表のとおりとする。

No.	名称	地番等	面積 (㎡)	土地状況	水道	トイレ	駐車可能台数
1	伊香立公園芝生グラウンド	大津市向在地町	7,700	芝生	有	有	100
2	皇子山運動公園	大津市御陵町4	20,000	グラウンド	有	有	200
3	比良げんき村	大津市北小松1769-3	55,000	アスファルト、土	有	有	50

7 参考事例 ①

市庁舎と公園との空間的連続性に着目したい事例



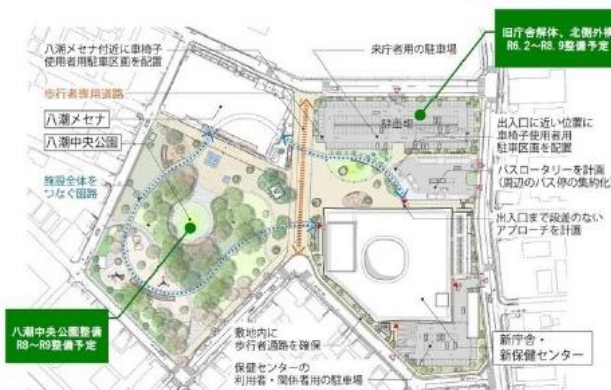
岡山市(事業進行中): 公園から市庁舎までの立体的な連続性

<https://www.city.okayama.jp/shisei/cmsfiles/contents/0000036/36124/imejizu.pdf>



八潮市: 新庁舎に隣接する公園を「まちの屋敷林」として再整備し市庁舎との回遊性を創出

<https://www.city.yashio.lg.jp/shisei/assetmanagement/tyousyataishinka/shinchosya-kouji/shinchoshakansei.html>



今後の整備予定を示した新庁舎周辺の完成イメージ図

市庁舎と公園との一体的な整備においてコンセプトを明示したことに着目したい事例



門真市(事業進行中): 庁舎エリア(市庁舎・公園・広場+体育館)のコンセプトを明示

<https://www.city.kadoma.osaka.jp/material/files/group/82/kadomasityousyaeriseibi-bijyonn.pdf>



仙台市(事業進行中): 「市民が集う多彩な協働の杜」と隣接する公園を位置づけ庁舎と一体的に計画

<https://www.city.sendai.jp/tatekae/kentoujoukyou/kentoukeika/kihonkeikaku/documents/191113shiryuu4.pdf>

<https://www.city.sendai.jp/tatekae/documents/jisshisekkeisyo1.pdf>



市庁舎と一体となる公園の使いこなしを検討したことに着目したい事例



伊佐市: 市庁舎整備の市民ワークショップで敷地内の公園についてのアイデアを出しあった

<https://www.city.isa.kagoshima.jp/wpcontent/uploads/2021/06/b8c0af66ae2174c217189a11f4358673.pdf>



周辺との連続性に着目したい市庁舎のデザイン事例

いなべ市新庁舎: 周辺の緑と共存する「杜の庁舎」

https://www.city.inabe.mie.jp/res/projects/default_project/_page/001/007/422/p_c045.pdf



7 参考事例 ②



としまエコミューゼタウン(豊島区役所):豊島区の雑木林を区役所の屋上(複数段)に再現
<https://building.tokyo/toshima-ecomusee-town/>



参考にしたい運動公園の事例



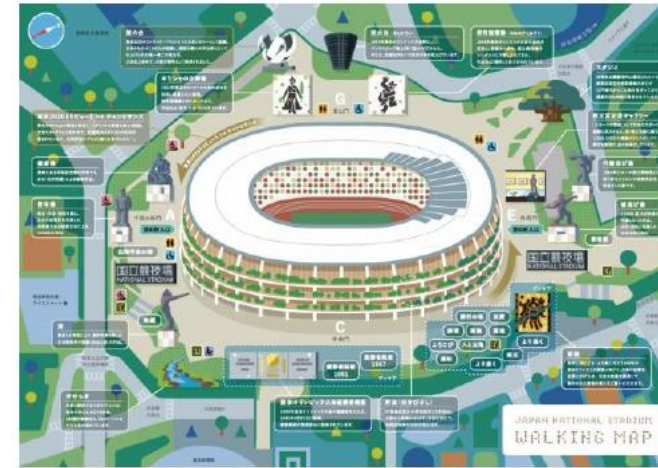
プロシードアリーナ HIKONE 文化交流も兼ね備えた公園のような運動施設
<https://shisetsu.mizuno.jp/m-7227>



アシックス里山スタジアム 海賊と里山というユニークなテーマの運動施設(岡田武史元日本代表監督の FC 今治の拠点)
<https://satoyamastadium.com/guide/>

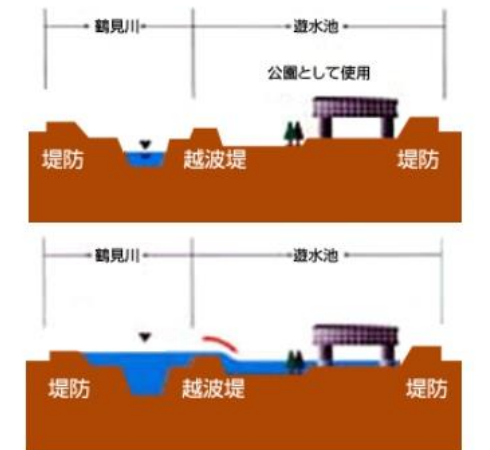


国立競技場 四季を楽しむ WALKING MAP
<https://www.jpnport.go.jp/kokuritu/tabid/449/Default.aspx>



新横浜公園・日産スタジアム 遊水地として防災機能を果たす運動施設

<https://note.com/kanto machinote/n/nf810197d79e2#6782a6c5-efe6-4065-9c02-d77d215edd14>



糸島市運動公園 施設間をつなぐプロムナードの軸線
<https://itoshimashisportspark.jp/>



7 参考事例 ③

公園の使いこなしに着目したい事例

東京都豊島区の中小規模公園活用プロジェクト(関連:南池袋公園):公園として競技場以外の利用方法を考える

<https://parkful.net/2018/11/interview-toshima/>



都立明治公園:活発なイベントの開催

<https://www.meiji-park.com>



籠田公園:岡崎市が取り組む公共空間活用策 QURUWA 戦略の一環としてまちの顔をめざす

<https://www.kagodapark.com/>



久屋大通公園:生活基盤の再編や原風景を刷新し、魅力的な活動の場として生まれ変わること、公園や市民同士の心理的なつながりを結び直す

<https://rhp.nagoya/>



草津川跡地公園 de 愛ひろば:計画段階から開園後のパークマネジメントを醸成した好例

<https://www.kusatsugawaatochi-park.com/de.top>



まちづくりの中心に公園を位置づけた事例

グラングリーン(うめきた 2 期):中心に都市公園を配置して大阪駅前を再開発

<https://www.pref.osaka.lg.jp/o140030/daitoshimachi/umekita2ki/index.html>



7 参考事例 ④

スマート化する公園の事例

ミライコラボ～スマートシティの実現に向けて～:国内、海外(北米、中国)における公園のスマート化事例の紹介サイト
<https://miraicolabo.willsmart.co.jp/article/5658/>



金谷公園 Digital1.0: デジタルコミュニケーションツールによる公園の運営管理

<https://www.city.mutsu.lg.jp/kurashi/machi/kouen/kanayakoensaizensen.html>



公園や運動施設をめぐる海外の動向

野球やサッカーのスタジアムが地域の公園として機能するよう外部空間の改修が進んでいる(例:ドジャーススタジアム, LAFC のスタジアムなど)

<https://landscapearchitecturemagazine.org/2017/10/20/fan-favorite-para-los-aficionados/> (英語サイト)



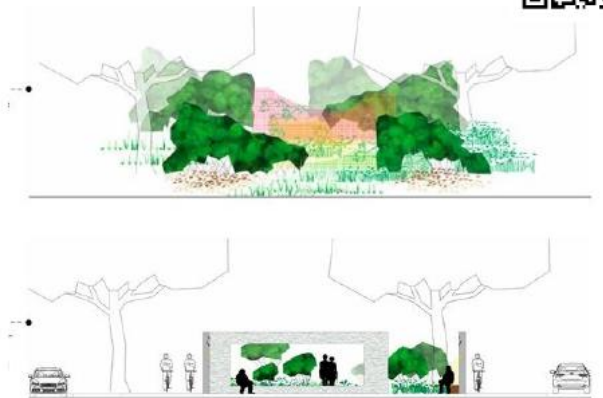
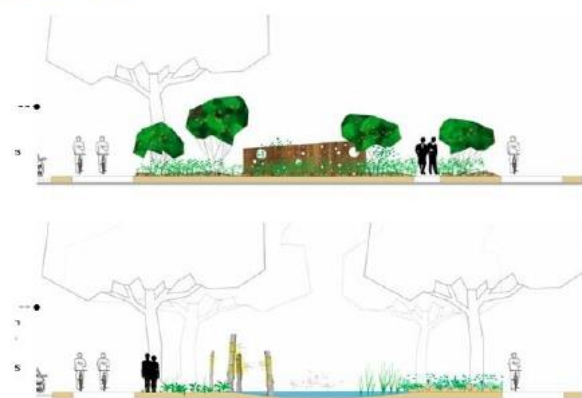
車の自動運転と MaaS が普及する近い将来、施設の駐車場は不要となる(イリノイ工科大学の The Driverless City Project)

<https://www.thedriverlesscityproject.org/publication> (英語サイト)



生物のための空間をつくる公園や建物のデザイン・ガイド (Animal-Aided Design)

<https://animal-aided-design.de/en/portfolio-items/animal-aided-design-broschuere/> (英語サイト)



緑化建築や親水公園の整備などでグリーンインフラを本格的に都市へ実装(シンガポール ABC Waters)

※シンボルプロジェクト: ビジャン-アン・モ・キオ公園

<https://www.pub.gov.sg/Resources/Publications/ABC-Waters> (英語サイト)

